

基礎看護学実習 I の様子

患者さん役の教員らに対して、ドキドキしながら血圧を測定しています。患者さんのお部屋をできるだけリアルに再現し、ベッド上の環境を整えた上で血圧を測ります。

80才で脳梗塞をと診断された患者さんを想定し、体を拭いています。保温に注意しながら、行います。



患者さんの私物を丁寧に扱いながら、生活環境の調整や清掃を行います。
環境の整備を通して、コミュニケーションも図っています。



患者さん役から飴を見せられ、「学生さん、あげるよ」と言われました。

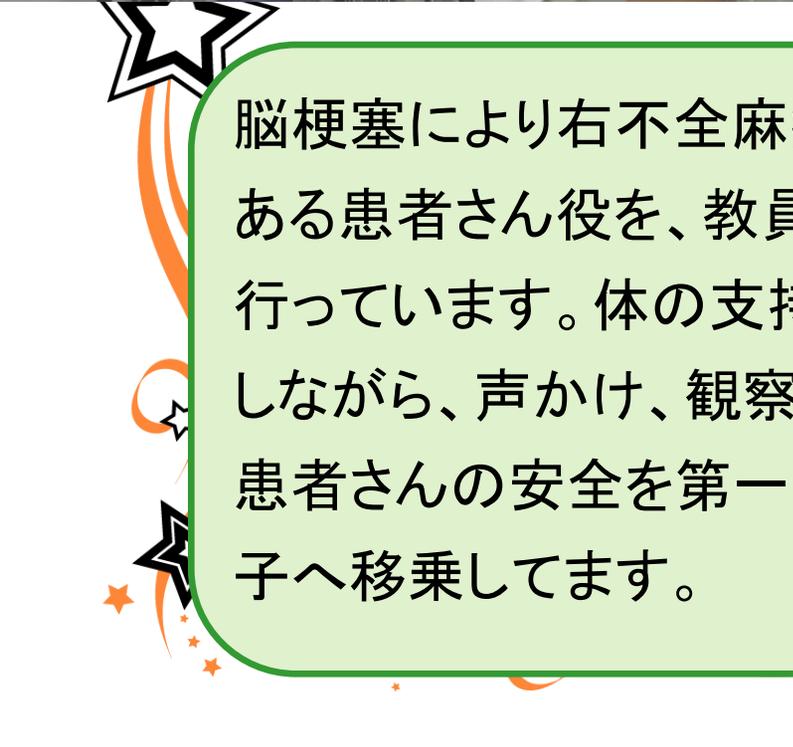
そのとき学生は？

ありがたい場面でも、どのように対応するのか考えなくてはなりません。





麻痺側を考えながら、血
圧測定を行います。
どのように声をかけなが
らバイタルサイン測定を
始めるのかも学習です。



脳梗塞により右不全麻痺が
ある患者さん役を、教員が
行っています。体の支持を
しながら、声かけ、観察、
患者さんの安全を第一に椅子
へ移乗しています。



触診法の血圧測定の場面では、患者さん役の教員から「どうして2回も測るの？看護師さんは1回なのに」と質問され、思いをうけとめつつ、必要性について説明をしています。



患者さん役への援助を、メンバー間で振り返り、良かった点や改善点を話し合っています。
メンバーの援助から学ぶことも多いです。